

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
幼児体育 Young Children Physical Education		児童教育学科 幼児教育学専攻	2年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
演習	1	選択	子安 崇夫	
概要				
<p>「子どもの生活はあそびである」と言われるが、幼児期の子どものあそびは身体活動を伴うことが多い。そして、これらの身体活動を伴うあそびは、子どもの心身の発育・発達に大きく関与している。本授業では、幼児期の子どもにとっての運動あそびとは何か、また、運動あそびの指導はどのように進めていけばよいかなど、単に動きの指導やあそびを考える指導に留まらず、心身の発達を視野において保育活動の一環としての運動あそびの指導ができるように、必要な能力や知識を身につけることを目標とする。</p>				
到達目標				
<p>(1) 子どもたちが楽しく運動できる雰囲気をつくることできる。 (2) 運動あそびにおける基礎的な知識を理解し考えを述べることできる。 (3) 子どもの発達段階に応じた基本的な運動あそびを実践できる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<ol style="list-style-type: none"> 1 幼児期の運動あそびの意義 –オリエンテーション– 2 幼児の発育・発達について 3 遊びの安全な場づくり① –物理的に安全な場– 4 遊びの安全な場づくり② –心身の安全な場– 5 「おにごっこ」の考え方と指導の留意点 6 「おにごっこ」の初期段階と指導の要点 7 「おにごっこ」の意味と課題（グループ活動） 8 「おにごっこ」におけるルールの意味 9 現実の発達課題に応じた「おにごっこ」の内容の検討（発表） 10 ボールあそびの要点① –ルールづくりを意識して– 11 ボールあそびの要点② –作戦づくりを意識して– 12 なわあそびの考え方と指導の留意点 13 短なわ技術の系統的指導 14 なわあそびにおける表現活動 15 まとめ 				
テキストおよび 参 考 文 献	授業時に指示 資料は随時配布			
メ ッ セ ー ジ な ど	保育士証：選択必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 子どもたちが楽しく運動できる雰囲気をつくることができる。	ほぼ完璧に雰囲気をつくることができる。	ある程度の雰囲気をつくることができる。	最低限の雰囲気をつくることはできる。	雰囲気をつくることができない。	授業への取り組み・発表 (関心・意欲 表現力)	20%
(2) 運動あそびにおける基礎的な知識を理解し考えを述べることができる。	ほぼ完璧に考えを述べることができる。	大きな間違いがなく考えを述べることができる。	最低限の考えを述べることができる。	考えを述べることができない。	授業への取り組み・レポート (理解・思考力・判断力・ 表現力)	40%
(3) 子どもの発達段階に応じた基本的な運動あそびを実践できる。	ほぼ完璧に実践できる。	大きな間違いがなく実践できる。	最低限のことは実践できる。	実践できない。	発表・レポート (知識・理解・ 表現力)	40%